

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年8月10日

【四半期会計期間】 第119期第1四半期(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

【会社名】 株式会社ヤマタネ

【英訳名】 Yamatane Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山崎元裕

【本店の所在の場所】 東京都江東区越中島一丁目1番1号
(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都江東区越中島一丁目2番21号 ヤマタネビル12階

【電話番号】 03(3820)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 管理本部経理部長 溝口健二

【縦覧に供する場所】 株式会社ヤマタネ関西支店
(兵庫県神戸市中央区港島六丁目3番地)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

印は法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供しております。

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第118期 第1四半期 連結累計期間	第119期 第1四半期 連結累計期間	第118期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
営業収益 (百万円)	12,822	13,231	50,213
経常利益 (百万円)	928	1,031	4,084
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	505	622	2,621
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	185	927	3,892
純資産額 (百万円)	32,590	36,617	36,268
総資産額 (百万円)	91,655	94,011	94,054
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	47.57	58.61	246.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	33.0	36.1	35.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成28年10月1日付で、普通株式10株を1株の割合で株式併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間の経営成績は、食品部門・情報部門の増収により、売上高は132億31百万円（前年同期比3.2%増）となりました。営業利益においても、食品部門・情報部門で増益となったことから10億69百万円（同6.7%増）となりました。経常利益は10億31百万円（同11.1%増）となり、更に固定資産売却益の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億22百万円（同23.2%増）となりました。

なお、セグメント別の状況は次のとおりであります。

物流関連

物流部門では、倉庫の保管残高の減少による保管料の減収に加え、大口荷主との取引内容の見直し等の影響により、売上高は52億3百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は7億36百万円（同11.3%減）となりました。

食品関連

食品部門では、量販・外食向けである精米販売は18千玄米トン（前年同期比3.7%増）と増加しましたが、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は、主要産地である東北・関東を中心に取引価格の高騰から思うようなコメの手当ができず、6千玄米トン（同13.2%減）と減少しました。この結果、総販売数量は25千玄米トン（同1.3%減）となりました。売上高は、コメの販売数量が減少したものの需給の引締めりによる取引価格上昇がこれを補い66億89百万円（前年同期比9.6%増）となりました。営業利益につきましては、前年同期においては仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できず28百万円まで落ち込みましたが、今期は需給が締まる中で適正な販売差益の確保に努めた結果、1億39百万円（同396.1%増）まで回復しました。

情報関連

情報部門では、基幹系システムを中心とした開発・保守業務が堅調に推移し、売上高は4億90百万円（前年同期比12.2%増）となりました。営業利益は、棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務はマイナスとなりましたが、システム開発業務が増益となった結果、0百万円（前年同期は18百万円の損失）と第1四半期としては連結決算開示以降はじめて損失を回避しました。なお、情報部門では棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務において、売上・利益とも第2、第4四半期連結会計期間に増加する傾向にあります。

不動産関連

不動産部門では、大口テナントの入れ替わりに伴う稼働率の低下等により、売上高は8億47百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は3億88百万円（同12.5%減）となりました。

(2)財政状態の分析

資産

資産合計は、現金及び預金や投資有価証券が増加しましたが、たな卸資産や土地が減少したこと等から、前連結会計年度末比42百万円減少し、940億11百万円となりました。

負債

負債合計は、短期借入金や長期借入金が増加しましたが、営業未払金や1年内返済予定の長期借入金が減少したこと等から、前連結会計年度末比3億91百万円減少し、573億94百万円となりました。

純資産

純資産合計は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したこと等から、前連結会計年度末比3億48百万円増加し、366億17百万円となりました。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,344,181	11,344,181	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	11,344,181	11,344,181		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年6月30日		11,344,181		10,555		3,775

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 718,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,597,800	105,978	
単元未満株式	普通株式 27,681		
発行済株式総数	11,344,181		
総株主の議決権		105,978	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が600株(議決権6個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式28株が含まれております。

3. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成29年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヤマタネ	東京都江東区越中島 一丁目1番1号	718,700		718,700	6.3
計		718,700		718,700	6.3

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,295	2,969
受取手形及び売掛金	5,833	5,886
たな卸資産	1,578	1,117
その他	698	618
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	10,404	10,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,351	14,143
土地	50,737	50,506
その他(純額)	6,772	6,730
有形固定資産合計	71,861	71,380
無形固定資産		
投資その他の資産	1,111	1,126
投資その他の資産		
投資有価証券	9,412	9,740
その他	924	853
貸倒引当金	35	35
投資その他の資産合計	10,301	10,557
固定資産合計	83,274	83,065
繰延資産	375	355
資産合計	94,054	94,011
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,732	1,942
短期借入金	4,043	4,596
1年内返済予定の長期借入金	2,485	1,676
1年内償還予定の社債	2,845	2,845
その他	2,749	2,434
流動負債合計	14,856	13,496
固定負債		
社債	14,500	14,500
長期借入金	16,742	17,619
環境対策引当金	8	8
退職給付に係る負債	1,658	1,669
その他	10,019	10,099
固定負債合計	42,929	43,897
負債合計	57,785	57,394

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,694	3,694
利益剰余金	15,314	15,428
自己株式	1,815	1,815
株主資本合計	27,748	27,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,558	3,772
土地再評価差額金	2,383	2,361
退職給付に係る調整累計額	67	64
その他の包括利益累計額合計	5,874	6,069
非支配株主持分	2,645	2,685
純資産合計	36,268	36,617
負債純資産合計	94,054	94,011

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業収益	12,822	13,231
営業原価	10,962	11,326
営業総利益	1,860	1,905
販売費及び一般管理費	858	836
営業利益	1,002	1,069
営業外収益		
受取配当金	106	129
その他	9	6
営業外収益合計	115	136
営業外費用		
支払利息	167	151
その他	21	23
営業外費用合計	189	174
経常利益	928	1,031
特別利益		
固定資産売却益	1	15
特別利益合計	1	15
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	930	1,046
法人税等	338	347
四半期純利益	591	698
非支配株主に帰属する四半期純利益	86	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	505	622

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	591	698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	407	225
退職給付に係る調整額	1	3
その他の包括利益合計	405	228
四半期包括利益	185	927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142	839
非支配株主に係る四半期包括利益	43	88

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)並びにのれん及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
減価償却費	332 百万円	減価償却費 349 百万円
のれん償却額	20	のれん償却額 0
負ののれん償却額	0	負ののれん償却額 0

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	478	4.50	平成28年3月31日	平成28年6月13日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月12日 取締役会	普通株式	531	50.00	平成29年3月31日	平成29年6月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	5,375	6,102	437	907	12,822		12,822
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	112		61	5	179	179	
計	5,487	6,102	498	913	13,002	179	12,822
セグメント利益 又は損失()	829	28	18	444	1,284	282	1,002

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 265百万円、のれん償却額 19百万円及び未実現利益調整額 2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	5,203	6,689	490	847	13,231		13,231
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	103		67	7	178	178	
計	5,307	6,689	558	855	13,410	178	13,231
セグメント利益	736	139	0	388	1,264	195	1,069

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 197百万円、のれん償却額 0百万円及び未実現利益調整額 2百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	47円57銭	58円61銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	505	622
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	505	622
普通株式の期中平均株式数(株)	10,626,185	10,625,373

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 平成28年10月1日付で、普通株式10株を1株の割合で株式併合したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(剰余金の配当)

平成29年5月12日開催の取締役会において、平成29年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	531百万円
1株当たりの金額	50円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成29年6月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8月10日

株式会社ヤマタネ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷 口 公 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井 澤 依 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヤマタネの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヤマタネ及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。